

野田ロータリークラブ週報



第2714回例会 (9月30日)

第2707号 2013.10.7 発行

会 長：伊 藤 義 雄

会長Iレク：染 谷 栄

副 会 長：中 野 祐三郎

幹 事：栗 林 徹

副 幹 事：岡 安 誠 人

■発行責任者：小森谷 渉

■創 立：昭和31年5月 ■例会日：毎週月曜日 PM12:30~13:30

例会場 事務局 野田商工会館内5F(樺のホール)

〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL04(7125)0061 FAX04(7125)0055

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

2013-2014年度 国際ロータリーのテーマ

会 長 挨 拶



伊藤 義雄 会長

今日は!!

3週間振りの例会です。先日9月20日に会長・幹事会がありました。そこでガバナー補佐よりガバナー公式訪問のときのお話しをされ、関口ガバナーがおっしゃるには野田クラブは、さすが歴史と伝統のクラブであり会員一人一人が職業奉仕であれ、社会奉仕であれ、まじめに対処しているクラブと見受けられるし、特に非常に仲がよいすばらしいクラブであるとお話しされておりました。この評価に恥じぬようこれからもクラブとして又

個人としても精進していきたいものです。

さて、日経ビジネスの本の中に「都市再開発の新技术」「都心の「隙間」に超高層ビル」という記事が載っていました。大阪の阿倍野地区に建設中の「あべのハルカス」の記事でこれまで日本一高いとされてきた1993年に建設された「横浜ランドマーク」の296mをこえる地上300mのビルです。しかも空きスペースのない敷地での難しい工事、屋上を資材置き場に有効活用して建築しているそうです。人間の頭脳、才能というものはある条件下、規制の中で最大限発揮されるということがいまさらながら思い浮かべる記事でした。

第2714回例会

点	鐘	伊藤 義雄 会長
司	会	浅野 泰泉 会員
ソ	ン	グ 手に手つないで

古谷 光裕 会員

先月の竜巻被害のお見舞に対する御礼の御挨拶

御結婚祝い



安西 俊敬 会員(10月1日)
小森谷 渉 会員(10月3日)

出席 今回分(9月30日分)
会員52名中43名出席(82.69%)

(9月16日分)休会

ニコニコボックス

茂木佐平治 会員

29日野田ガス主催 野田市ママさんバレー大会が盛大に開催され激戦を展開、無事終了しました。

佐野 浩平 会員

下手な俳句が入選しました。

駒崎 修 会員

世界でも有数の透明度を誇る沖縄のケラマ諸島へスキューバダイビングに行ってきました。

小森谷 渉 会員

結婚祝いありがとうございます。

安西 俊敬 会員

結婚祝いありがとうございます。

遅刻 1名

早退 2名

幹事報告

栗林 徹 幹事



- ・活動計画書受領 松戸東RC
例会休会のお知らせ
- ・松戸ロータリークラブ
10月 2日(水)…定款第6条第1節により休会
- ・柏ロータリークラブ
10月16日(水)…第10分区合同例会及び情報研究会
三井ガーデンホテル柏 点鐘12:30
10月23日(水)～24日(木)…移動例会(親睦旅行)
中伊豆方面
- ・柏西ロータリークラブ
9月27日(金)…夜間例会 19:00～ディナーコンサート
10月10日(木)～11日(金)…移動例会 職場見学
10月18日(金)…休会 10/16(水)「第10分区情報研究会及び合同例会」に振替
10月25日(金)…夜間移動例会 第1回インターゴルフ
- ・10月7日(月)移動例会の際に持ち回り理事会開催します。
- ・10月28日(月)に理事会開催します。

委員会報告

社会奉仕委員会
高梨昇一郎 委員長



手をつなぐ親の会のバザーへの協力の御礼

職業奉仕委員会
石山 隆一 委員長



職場訪問について

出席委員会
村上 奈美 前出席委員長



昨年度皆出席表彰

卓話

「式年遷宮」

田中 鐘一 会員



久しぶりに卓話の担当がまわって参りました。

今回の卓話を引き受けることになり、何を題材にお話をさせて頂こうかと悩みました。前回は、仕事関係で『防災について』資料をまとめお話をさせて頂きましたが、今回は、大きな話題で『式年遷宮』が執り行われる年として、伊勢の「神宮」では20年に一度の御遷宮、出雲の「大社」では60年に一度の御遷宮と、とても目出度く意味深い年となりました。これから皆様もお出かけ、お参りに行かれるかもしれません。その際の参考にもして頂ければ幸いと思ってお話をさせて頂きます。

私は、お神輿を担ぐのが好きで、氏神様である鹿島神社の祭事係を経験するころから神社信仰や神道に興味を持ちだしました。

その後、青年会議所のもの好きな仲間が集まって、1月の大寒の夜に伊勢の五十鈴川へ禪一丁で入る「修養団伊勢みがかく研修会」に参加することで、心清らかに伊勢の神宮に正式参拝をさせて頂くという経験をしました。おかげで伊勢が大好きになってしまい、この19年間で研修に17回位参加し、参拝は年に1回から多い時には2回程通う伊勢マニアになっていました。

1月は研修会参加。3月に一人で伊勢に参拝の旅をするということを繰り返しながら、地元の人々やタクシー運転手に話を聞いて私の「お伊勢参り」を確立しました。

まずは、伊勢の神宮のお話をさせて頂きます。

「お伊勢さん」「大神宮さん」と親しく呼ばれ、辞書などでは「伊勢神宮」と紹介されておりますが、単に「神宮」というのが正式な名称です。

神宮は、皇大神宮、豊受大神宮を「正宮」とし、別宮・摂社・末社・所管社の125社からの総称を「神宮」といいます。しょうぐう

参拝のルートとしては、外宮（げくう）から内宮（ないくう）へ参拝するのが正式な参拝の仕方です。



外宮参拝後、内宮にお参りされる方がほとんどですが、天照大神が内宮にご鎮座される際、二見海岸にて禊をされてから内宮にご鎮座されたことから、夫婦岩で有名な二見興玉神社にて参拝をされてから内宮の天照大神様をお参りすることをお勧めします。

外宮（げくう）の「豊受大神」様は、五穀豊穡の神様です。人々を豊かにする神様ですので、こちらで願い事をご祈願して下さい。ある本では、「肝心なことは、情感をふり絞って、わかり易く素直にありのままの自分の思いを申し上げること」と書いてありました。同時に外宮境内にあります「多賀宮（たかのみや）」への参拝もした方が良いでしょう。

二見興玉神社では、身を清める思いで参拝をして下さい。その後、夫婦岩から海を望む景色を楽しんで頂ければと思います。

そして、内宮（ないくう）の皇大神宮「天照大神」様への参拝となります。地元の方はお伊勢参りを楽しんでいるようで、居酒屋リサーチでは、内宮を参拝する前におかげ横丁の「白鷹酒造」（お神酒を奉納されているお店）にてゆで卵と冷酒をたのみ景気をつけられてから参拝するそうですが、私は参拝後に寄ることにしています。

本題に戻りますが、内宮の皇大神宮「天照大神」様は、皇室のご先祖の神で日本人の総氏神とも言われています。ご正宮（しょうぐう）では、私欲を願うことは禁物です。こちらでは、世界平和・日本国民の幸せ・蘇民将来など、広く大きいことをご祈願することとされています。また同時に内宮境内にあります「荒祭宮（あらまつりのみや）」への参拝をお願いします。また、お酒を好む私は「御酒殿神（みさかどののかみ）」にも手を合わせています。

これでお伊勢参りは、限られた時間内でお参りをするにはできますが、御正宮の鬼門の位置をお守りする「朝熊山 金剛證寺（あさまやま こんごうしょうじ）」というお寺があります。当時のうたで「伊勢に参らば朝熊をかけよ、朝熊をかけねば片参り」とうたわれたそうで、お伊勢参りの後に来られるそうです。弘法大師が開いたお寺と言われていて、現在の宗派は確認をしていますが、地元の人たちは、お身内でお亡くなりになった人が一周忌を迎えると宗派を問わずお参りに来るお寺となっているそうです。

また、内宮の宇治橋前には、足軽さまと親しまれている「宇治神社（うじじんじや）」があります。伊勢の森の氏神様で、こちらの氏子さんたちは全員内宮の神職の方たちという不思議な神様もおります。

他には、天照大神の弟神である「月読宮」「月夜見宮」や、125社を纏め上げ神宮を作った「倭姫宮」、天孫降臨で瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）の道案内役として活躍され、芸能・建設の神様として祀られている「猿田彦神社」などが近隣にご鎮座されておりますので、お時間のある方は如何でしょうか？

注意事項としまして、正式参拝は正装（スーツ）でないと参拝させてくれませんのでご注意ください。参拝方法については、個人的に聞いて頂ければお伝いします。

なお、天照大神が本殿から新殿へとお移りになる「遷御（せんぎょ）」は平成25年10月2日に行われます。（豊受大神は10月5日）。

続きまして、出雲大社の話に移らせて頂きます。

出雲大社の御祭神は「大国主命」で、神仏習合の名残でしょうか「大黒様（大国様）」とも呼ばれる神様です。因みに弟神の美保神社に祀られる「事代主命」は「えびすさま」とも呼ばれています。

昭和以降、国幣大社に列せられる神社は計71社あるそうですが、その中で単に「大社」というだけで通じるのが出雲大社だけで、正式な名称は「大社」だそうです。ここでは出雲の大社と呼ばせて頂きます。

「縁結び」の神様として有名ですが、国譲り神話に基づきますと天孫に国を譲られたことから「国土建設の神」という言われもあるそうです。そう考えると、政治家の人が選挙で武神をお祀りしているのをよく目にしますが、私個人の意見としては、出雲の大社をお祀りして欲しいと考えてしまいます。

旧暦10月は「神無月」と言いますが、出雲では八百万の神々がお集まりになることから「神在月」と呼びます。国譲りの舞台となった「稲佐の浜」にて八百万の神々をお迎えし、大社での祭典後に八百万の神々は本殿の両脇にある東西の19社を宿とし、上の宮というお社で「神議り（かむはかり）」という会議を行なっているそうです。なお、八百万の神々が「直会」をし、故郷に帰られる時が来たことを告げる「神等去出祭（からさでさい）」が行われるのが万九千神社というところです。

説明はこれくらいにし、参拝や観光のルートをご案内したいと思います。出雲は移動距離があるので、「出雲えんむすび空港」にてレンタカーを借りての移動が最適です。

参拝のルートですが、私自身初めての参拝なので、なかなか情報が仕入れられませんでした。タクシーに乗って食事に向かう時、このようなルートで回ろうと思っているんだと話したら、「お客さん！熱心な方はそのように回っていますよ！」とのことでしたので、ちょっと嬉しくなっていました。実際に観光を含めて私がまわった場所をご案内します。

まず、到着後にレンタカーに乗って向かった所は、「島根県立古代出雲歴史博物館」です。初めての土地ですので、「神話のふるさと」と言っているからには、歴史を学んでからが良いと考えたのですが、その考えはドンピシャの大正解でした。

この場所は、出雲の大社のとなりにある建物なので、一の鳥居を避けて向かって下さい。

そこは、出雲の大社の歴史や古代人の出土物が多く展示されているところで、圧巻は荒神谷遺跡で昭和59年に発掘された358本の銅剣が出土し、それを展示してあったことです。古代人の息吹を感じずにはいられませんでした。

そして出雲の大社で有名なのは、古代神殿で高さ48mあったと言われている高層のお社です。この想定は、「東大寺大仏殿」や古代朝廷の正殿「平安京大極殿（だいくくでん）」より巨大であったとされていて、平安時代に源為憲（みなもとのためのり）によって作られた口遊（くちずさみ）で数え歌として歌われた「雲太・和二・京三（出雲太郎・大和次郎・京三郎）」というものがあったそうです。この高層建築に疑問を呈する学者がいますが、何度も倒壊した記録があることと、平成12年に直径1.35mの巨大な3本ひと組の柱の根元が発掘されたことによって、より真実味が増してきているとのことです。

まずは、この博物館にて古代へのロマンを感じてみては如何でしょうか。

参拝の最初は、大国主命の先祖神と言われている須佐之男命をお祀りしている「須佐神社」から参拝を開始します。本殿は、重要文化財の指定を受けていてとても趣のあるお社です。とてもパワーのある神社だそうです。気持ちを鎮めて参拝して下さい。お時間のある方は、駐車場の近くに雑貨屋さんがあるのですが、「語りべ」のおじいちゃんが神話の話をしてくれます。おばあちゃんが出してくれたお茶とお新香を頂きながら、おじいちゃんの話は90分近くになってしまいましたがとても楽しい話でした。帰る時にお礼を言ったら、「おじいちゃんの話聞いてくれてありがとう」と言われてとてもほっこりとする時間だったと思います。

次に向かったのは、国譲りの舞台となった「稲佐の浜」です。何もない海辺にぼつんと岩山があります。何とも不思議な光景でした。神話を思い出しながら記念撮影をしたりされると良い場所だと思います。私の場合、絵を書いていたおじさんから声をかけられて、神話や人生訓を話して頂き、またまた時間は取られましたが楽しい会話をさせて頂きました。そして日御碕神社へと向かいます。

出雲には、将軍徳川家光が建立した神社があります。「日御碕神社（ひのみさきじんじや）」といい御祭神は天照大神です。朱塗り（あかぬり）の権現造りで、江戸時代初期

ENGAGE ROTARY
CHANGE LIVES

の建築として重要文化財となっています。

地元の話でも、まずは須佐之男命をお参りし、天照大神に敬意を表してから大社様へ行けとのこと。ここのお砂は、災難を避けると言い伝えがあるそうです。

やっと出雲の大社へと足を運びます。私が行った時は、お昼を過ぎていました。日御碕神社をあとにし、出雲の大社の入口である石の大鳥居から入って行きます。周りは商店が並ぶ町並みです。そのまま真っ直ぐに抜けていくと車では入れない木製の鳥居が現れます。(左側に石で「出雲大社」と書いてあります)ここからが神域で参道となるのですが、まずは腹ごしらえに向かいます。

木製の鳥居に向かって左手の細い路地を車で入っていくと、「出雲そば かねや」があります。ここは、夜のリサーチで絶対に裏切らない出雲そば!と地元の方が言うお店です。出雲そばって、初めて食べましたが美味しかったです。重箱(5段を頼みました)のように出てくるのですが、全部の味が違うので楽しめます。

お待たせしました。出雲の大社へ参拝に向かいます。

木製の鳥居をくぐるって行くと右側に小さなお社があります。そこは「祓社(はらいのやしろ)」といって、心身を祓い清める祓井神(はらいどのかみ)が祀られていますので、ここをお参りし心身を清めます。

さらに参道を進んで行きますと、松並木に鳥居が現れます。そこは真ん中をあるかないで下さいとの看板がありました。神様が通るところかと思われれます。その松並木を過ぎ、最後の鳥居の奥に出雲の大社の大注連縄をした仮殿が見えてきます。皆さんが行かれる時には、本殿にお移りになっているので、その仮殿の奥が本殿となります。

鳥居をくぐって左手には、大きな日の丸の旗があるのですが、神職の方に伺ったら古代神殿の高さの48mの高さに、たたみ75畳分の大きさがある国旗を掲揚しているとのこと。

大社様の参拝方法は、通常の神社参拝の「二拝二拍手一拝」の方法とは違います。

「二拝四拍手一拝」の手順で参拝をさせていただきます。

出雲の大社で正式参拝(門内参拝)は、大社様に対する貢献度・崇敬会員・神社庁からのご紹介が必要で、一般参拝者では難しいみたいです。

出雲の「大社」では60年に一度の御遷宮である「本殿遷座祭(ほんでんせんざさい)」は、平成25年5月10日に無事に執り行われました。

今は、本殿での参拝が出来ます。楽しみですね・・・。

「神宮」「大社」へ参拝に行かれる方の参考になればと思います。

まとまらないお話ですみません、ご静聴ありがとうございます。

只今、9月29日の午前5時・・・28日の午後9時からの作成ですので実に8時間をかけた大作となってしまいました・・・もう眠いです・・・しかも、こんな長文では週報に載せられないと思いますが、ご容赦くださいませ。

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表

月日	卓話・行事	月日	卓話・行事
10月7日(月)	職場訪問(株)ピアノプラザ本社	10月21日(月)	卓話 宇佐見義夫 会員 スピーカー 常楠様
10月14日(月)	休日(体育の日)	10月28日(月)	卓話 富山 好夫 会員